



横浜銀行 ニューヨーク駐在員事務所

週間トピックス Vol. 494 (2019. 6. 7)

<今週のトピックス>

お1人さま大歓迎

ニューヨークでは近頃、一人で気軽に食事ができるレストランが増えています。OpenTable というレストラン予約サイトでは、2014年から2018年の5年間で1人での予約件数が80%増加したというデータがあります。また、2018年のバレンタインデーの1人客の予約が前年比33%増えたといえます。アメリカのバレンタインデーは男性から女性にプレゼントを贈る習慣があり、デートに最適な日にもかかわらず、です。

そもそもよほどの高級店でなければ1人客お断りということはないのですが、カジュアルなレストランでも1人で食事をしている方はあまり見かけず、「レストランでは2人以上で会話を楽しみながら食事をするもの」という雰囲気があるのは事実です。また、レストラン側としても、売上やチップのことを考えれば、複数人座れるテーブルを1人で使われては・・・という考え方もあるようです。

ただ、最近になって、1人客を取り込んだレストランの売上が伸びているということもあり、1人でも食事ができるバーカウンターを導入したり、1皿のボリュームを減した料理や1本の分量を減らしたワイン等を提供するレストランが出てきています。日本の「いきなりステーキ」も、当初は1人客を意識したレイアウト、オペレーションでニューヨークで他店舗展開しました。こちらは若干苦戦しており、業態変更を含めて仕切り直し中ですが、「お1人さま」が注目され始めているのは間違いありません。

もしかすると、数年後にはカウンターでお酒を飲みながらちゃんと食事をする、日本の古き（良き）居酒屋のようなスタイルがニューヨークでブームになっているかもしれません。

(出所：Wall Street Journal)

- ・本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ご利用に関しては、すべてお客さま自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
- ・本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
- ・本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
- ・本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。